謹賀新年

８８式地対艦誘導弾発射機の射撃準備

陸上自衛隊
八戸駐屯地広報紙
発行元
八戸駐屯地後援会
編集協力
八戸駐屯地司令業務室
印刷
㈱中長印刷

第4地対艦ミサイル連隊長
兼ねて　八戸駐屯地司令
1等陸佐　梶田　稜路

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、平素から八戸駐屯地及び隊員に対し多大なるご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして素晴らしい1年となりますことを心より深く祈念申し上げます。

まず昨年11月に駐屯地の隊員が八戸演習場において一時行方不明となり、地域の皆様に多大なご迷惑とご心配をおかけしたことを心よりお詫び申しあげます。同種事案の再発防止と関係機関等との情報共有態勢の改善を図り、信頼される自衛隊・駐屯地を目指してまいります。

今年の干支は「乙巳」（きのと　み）です。「乙」（きのと）は、草木の幼芽が成長しきれていない状態であり、「巳」（み）は、蛇を表し、厳しく困難な状況に粘り強く次の成長の準備する意味があります。ドイツの哲学者フリードリヒ・ニーチェは、「脱皮できない蛇は死ぬ」という言葉を残しました。これは、古い殻に閉じこもらずに常に変化をしなさいといったことのようです。総じて「乙巳」である今年は、困難な状況に対応できるように新たな形に再成し、将来の目標に向かって準備する重要時期と捉えることができると思います。

駐屯地の部隊である第4地対艦ミサイル連隊は皆様のご支援とご協力もあり、令和7年3月に約３００名の部隊として4個中隊の編成に増強改編予定です。まさに、予め予定されていたかのようにこの年にふさわしく、今及び将来の脅威に対応できるよう再成します。また、八戸駐屯地所在各部隊も成長する蛇のように厳しく複雑な安全保障環境に適合できるよう、着実にその能力を向上させていきます。

八戸駐屯地の部隊・隊員は、本年も平素の教育・訓練を通じて対処力に裏打ちされた抑止力の向上を図り、あらゆる事態に即応して、地域の皆様から信頼される駐屯地を目指し、チームワークを発揮して参りますので、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

八戸市長　熊谷　雄一

八戸駐屯地の隊員と御家族の皆様に、謹んで新年の挨拶のお慶びを申し上げます。

隊員の皆様には、我が国の防衛はもとより、全国的に激甚化・多発化する大規模災害における救助・復旧活動等に御尽力いただき、心より経緯と感謝の意を表します。

八戸市は、陸上自衛隊八戸駐屯地並びに海上自衛隊第2航空群との間で「大規模災害時における緊急避難場所等に関する協定」を結んでおり、昨年11月には、同協定に基づき、陸上自衛隊東北方面隊主催の「みちのくアラート」に合わせて駐屯地での避難訓練を実施いたしました。

実施に当たっては、梶田駐屯地司令を始め、隊員の皆様から御協力をいただき、改めて感謝を申し上げます。市といたしましては、災害や危機に強い、安全安心で暮らしやすいまちの実現に向け、巨大地震に伴う津波対策を目的とした「津波避難施設の整備等に関する基本方針」の策定を定め、頻発する災害への対策を強化してまいりますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに八戸駐屯地の今後ますますの御発展と、隊員並びに御家族の皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

八戸駐屯地後援会　会長　坂本　美洋

駐屯地司令をはじめ隊員、隊員ご家族の皆様、謹んで新年のお喜びを申し上げます。昨年は中国による頻繁な台湾周辺における軍事演習、ロシアによる領空侵犯等、また国内では年明けに発生した能登半島地震に伴う災害派遣等自衛隊への任務は一層緊迫する中において、駐屯地の皆様には、我が国の平和と独立を守るため日々ご尽力されておりますことに深く感謝を申し上げます。

八戸駐屯地後援会は本年も駐屯地各部隊の皆様が安心して任務にまい進していただけるよう協力体制を強化していくとともに、本紙を通じて読者の皆様に対し、任務にまい進する八戸駐屯地部隊・隊員の真摯な姿をお伝え出来るよう努めてまいります。本趣旨をご理解いただき協賛いただいております後援会の皆様に対し改めて御礼申し上げます。

最後に駐屯地各部隊の益々のご発展と隊員、ご家族並びにご愛読いただいております皆様のご健勝とご多幸を重ねてお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます！

今年も八戸駐屯地をよろしくお願いします！

八戸駐屯地
公式キャラクター
市川　ききょう　士長

駐屯地協力団体　年頭の辞

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、八戸駐屯地の皆様には、国内での自然災害の増加や国際情勢の変化がみられる中、日夜訓練に精励し、激しい職務を遂行されていることに敬意と感謝を申し上げます。

当協力会では、本年も地域住民と自衛隊の架け橋となる事業に取り組み、自衛隊諸活動のさらなる支援に努めてまいりますので、引き続きご理解ご協力賜りますようお願い申し上げます。

八戸地区自衛隊協力会
会長　武輪　俊彦

明けましておめでとうございます。

令和7年の年頭に当たり八戸駐屯地の皆様に新年のお慶びを申し上げます。

任務に邁進しておられる隊員及びそのご家族の皆様に改めて感謝を申し上げます。特に、令和6年能登半島地震の災害派遣に参加された皆様、ありがとうございました。

本年も隊友会は「国民と自衛隊の架け橋」として自衛隊を支援していきたいと思います。

八戸駐屯地所属部隊の益々のご発展と隊員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

公益社団法人隊友会
青森県隊友会　三八地域支部
支部長　小笠原　治仁

八戸駐屯地で勤務されている隊員並びに御家族の皆様謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は新年早々能登半島地震が起き、すぐさま派遣された隊員、春まで交代派遣された隊員の皆様ご苦労さまでした。

昨年春、第5高射特科群が再編され今年も地対艦ミサイル連隊が再編されると伺っております。11月には駐屯地にて家族支援訓練も実施されました。今後共、訓練に参加し家族会と部隊とのつながりが強化できればと考えます。今年も八戸市自衛隊家族会は八戸駐屯地各部隊に激励支援できるよう応援していきます。

今年は、安寧の1年になってほしいものです。自衛官の皆様方には、市民が安心安全に暮らすため日夜勤務されておられる事誇りに思っております。

結びに八戸駐屯地各部隊の益々のご発展と隊員、ご家族の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

青森県自衛隊家族会
三八地区協議会八戸市自衛隊家族会
会長　室谷　格

みちのくアラート2024

陸上自衛隊東北方面隊は令和6年11月15日（金）から24日（日）まで大規模災害訓練「みちのくアラート2024」が実施されました。それに伴い八戸駐屯地は、八戸市との「大規模災害時における緊急避難場所等に関する協定」に基づく避難訓練を行いました。本訓練は夜間に震度6強の地震が発生、大津波警報が発表された想定で、市民が一時避難場所まで実際に歩き、避難経路を確認しました。本訓練を通じ、さらなる協力体制の強化を図りました。

駐屯地内の避難標識

夜間における避難訓練

八戸市防災訓練

令和6年10月26日（土）に、八戸市舘鼻岸壁で「令和6年度八戸市総合防災訓練」が実施され、八戸駐屯地からは21名が参加しました。八戸市の民間団体や消防なども参加し、要救助者の救出訓練を実施しました。また、自衛隊の装備品展示、地域住民と触れ合う場面も見られるなど地域の方々にご理解を得られたと思います。

災害が発生した場合は、この防災訓練で実施したことをしっかりと生かせるよう今後も関係機関等との連携を強化していきます。

救出訓練

八戸市の消防等と連携

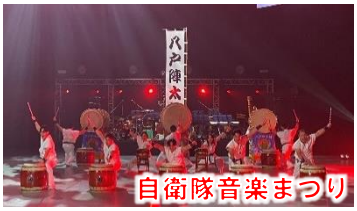
八戸陣太鼓部の活動

八戸陣太鼓は、令和6年9月21日（土）に宮城県（トークネットホール仙台）において東北方面隊創隊64周年記念音楽コンサートに船岡駐屯地（宮城県）の船岡さくら太鼓と共演しました。それぞれのチーム演奏をした後、2個チーム合同で演奏をしました。

また、11月15日（金）・16日（土）に日本武道館で行われた令和6年度自衛隊音楽まつりにも参加しました。

今年は全国から11個チームが参加し、総勢150名で演奏をしました。2日間で6回の公演をし、多くの来場者に自衛太鼓の演奏を披露しました。

東北方面コンサート



自衛隊音楽まつり

南部町防災訓練

令和6年11月24日（日）、南部町において「南部町総合防災訓練」が実施され、八戸駐屯地は自衛隊の人命救助システムの装備品展示と隊員手作りの約250名分のカレーの炊き出しを行いました。

当日は寒い中でしたが多くの地元住民が参加し、カレーを食べて体を温めていました。

隊員の手作りカレー！

装備品展示

東北方面総監現況把握受察

令和6年8月29日（木）に牛嶋　築　総監が八戸駐屯地に来庁し、現況把握を行いました。牛嶋総監は、令和6年8月に東北方面隊の総監として着任されました。

現況把握では、八戸駐屯地の状況報告をし、実際に八戸駐屯地の各部隊の隊舎や装備品、営内隊舎などを視察されました。

今年度のインターンシップ

八戸駐屯地では、令和6年7月から10月までの間に八戸駐屯地周辺の中学校・高校、13校に対しインターンシップを行いました。

インターンシップでは、陸上自衛隊及び八戸駐屯地の概要を説明し、実際に展示されている装備品に触れてみたり、装具を身に着けたり、基本教練やロープ訓練、人命救助システム装備品など自衛隊ならではの内容を体験していただきました。

今後も積極的にインターンシップの受け入れを行い、自衛隊に対しより多くの方からご理解、ご関心を深めていただけるように活動していきます。

自動車フェスティバル

令和6年9月29日（日）ピアドゥ淀の館周辺駐車場にて、八戸自動車フェスティバル２０２４が開催されました。八戸駐屯地からは衛生車両や対空レーダーを積載した車両を展示し、多くの来場者に関心を持っていただきました。

担架を体験する子供たち

対空レーダーを積載した車両

陸・海自衛隊見学ツアー

令和6年11月9日（土）に、青森地方協力本部と合同で、「陸・海自衛隊見学ツアー」を実施しました。

自衛隊の装備品や隊員が実際に居住している隊舎を見学しました。参加者からは、「同世代の自衛官から直接話を聞け、自衛隊への理解が深まった。」等の声が聞かれました。

宿営天幕を見学する参加者

居住隊舎を見学する参加者

定年退官者紹介（令和６年９月１日～令和７年１月３１日）

【第４地対艦ミサイル連隊】
陸曹長　坂野　栄造（令和６年10月26日付）
陸曹長　宮下　雅光（令和６年12月４日付）
准陸尉　百澤　仁（令和６年12月16日付）

【第９後方支援連隊】
陸曹長　大澤　哲（令和７年１月30日付）

【八戸駐屯地業務隊】
准陸尉　和田　純（令和６年10月４日付）
准陸尉　渡部　宏（令和６年12月２日付）
准陸尉　市川　浩（令和６年12月19日付）
准陸尉　坂野　安弘（令和６年12月20日付）
３等陸尉　葛西　仁（令和６年12月28日付）

【第38普通科連隊】
１等陸曹　川向　政利（令和６年10月26日付）

【第５高射特科群】
１等陸曹　宍戸　賢（令和６年９月23日付）

【第９飛行隊】
准陸尉　倉内　明彦（令和７年１月27日付）

【第３０３高射直接支援中隊】
准陸尉　押切　悟（令和７年１月25日付）

【自衛隊青森地方協力本部八戸地区合同援護調整所】
１等陸尉　石倉　十志彰（令和６年10月31日付）

長年の勤務
お疲れ様でした！

今日と未来を、つなぐ。日本生命
NISSAY
ニッセイ　みらいのカタチ

日本生命保険相互会社　青森支社
【八戸南営業部】川崎　靖子・木村　成子
八戸市湊高台２－１３－３６　TEL：0178-31-6861
【八戸西営業部】君島　実可子・髙波　侑奈
八戸市一番町１－９－２２　TEL：0178-23-4471
【常駐員】長松　弘江・石井　典子
004-24-110（期限26/3）

各部隊の活動状況

第9後方支援連隊

第9後方支援連隊は、令和6年9月23日（月）から26日（木）までの間、令和6年度第1整備大隊及び補給隊訓練検閲を実施しました。

統裁官（連隊長　齋藤1佐）要望事項である「部隊の能力を最大限に発揮して支援任務を完遂せよ」「領域横断作戦環境を踏まえた基本・基礎を確行せよ」「安全管理の徹底」に基づき、昼夜の寒暖差が大きい厳しい環境下にもかかわらず、第1整備大隊長（工藤2佐）、補給隊長（金澤3佐）を核心として、隊員一人ひとりが持てる力を十二分に発揮して任務を完遂しました。連隊は、引き続き練成訓練等を通じ、あらゆる事態に対応して任務を完遂できる部隊の育成に努める所存です。

敵航空機に対して警戒する補給隊

故障車を整備する第1整備大隊

本検閲における優秀隊員の表彰

第4地対艦ミサイル連隊

第4地対艦ミサイル連隊は、令和6年9月2日（月）から5日（木）までの間、八戸演習場において令和6年度第1中隊及び連隊直轄部隊（通信小隊）訓練検閲を「離島侵攻対処における島嶼に展開した地対艦ミサイル連隊内射撃中隊及び通信小隊の行動」を検閲課目として実施しました。

状況開始直後から雷を伴う豪雨の中、受閲部隊は整斉と偵察・占領行動を開始しました。これまで積み上げた練成成果を遺憾なく発揮して各隊員は高い士気と強い精神力をもって、あらゆる敵の脅威を克服して健在し、対艦戦闘準備、通信組織の構成を示された時間までに完整させるとともに、対艦戦闘任務を無事完遂し、東北方面隊唯一の対海上火力戦闘部隊としての更なる自覚と誇りを堅持しました。

隊容検査

射撃準備良し！

有線構成をする隊員

第5高射特科群

第5高射特科群は、第319高射中隊に対し、令和6年10月16日（水）から19日（金）までの間、米国マグレガー射場において令和6年度ホーク部隊実射訓練検閲を実施しました。国内での練成訓練の成果を発揮し、部隊の任務達成能力を確認しました。今後も部隊として対空戦闘能力向上に努めます。

米国マグレガー射場

実射訓練

ミサイル実弾の組み立て

第2対戦車ヘリコプター隊

令和6年度OH1　AAM実射訓練

第2対戦車ヘリコプター隊は、令和6年8月30日（金）から9月7日（土）までの間、静内対空射場において実施された、令和6年度OH1　AAM実射訓練に参加しました。約12年ぶりのAAM実射訓練のため、操縦士・整備員共に綿密な事前訓練を実施し、万全の態勢で実射訓練に臨みました。

日頃の訓練成果を発揮し、1件の事故・不安全もなく実射訓練を成功に終えることができました。引き続き整備・飛行訓練を継続し、練度向上に努める所存です。

弾薬搭載

AAM発射

第9施設大隊

第9施設大隊は、令和6年7月30日（火）から9月16日（月）までの間、ケニア共和国ナイロビにおいて、令和6年度国連三角パートナーシップ・プログラム訓練（ケニア）に操作教官として派遣隊員4名を参加させました。

今回の訓練は、アフリカ各国の工兵要員に対して施設機械操作の指導法等を教育し、施設機械操作の指導者を育成するために実施されたものであり、参加隊員4名は大隊で培った施設技術を遺憾なく発揮し、道路補修等のインフラ整備、宿営地の構成等に必要な施設機械操作の指導法に関する知識及び技能を各国の工兵要員に習得させ、約1カ月半にわたる任務を見事完遂し帰国しました。

工兵要員に対する施設機械操作の教育

施設機械操作要領の展示

被教育者との親睦（国立公園ツアー）

八戸駐屯地業務隊

出動準備訓練

駐屯地業務隊は、令和6年10月7日（月）から8日（火）までの間、第4地対艦ミサイル連隊と協同して出動準備訓練を実施し、各種交付業務（弾薬、糧食及び燃料、個人用の薬品交付要領）及び引継ぎ業務（行政文書・施設・営内指定物品等の引継ぎ要領及びその所要を確認）の一部を行い、各種事態対処能力の実効性向上の資を得ることができました。

指定物品の確認

営内指定物品

各部隊の活動状況

第384会計隊

第384会計隊は令和6年10月5日（土）から6日（日）までの間、仙台駐屯地で行われた東北方面会計隊創隊65周年記念行事及び持続走競技会・球技大会に参加しました。

隊は年度初め当初から持続走3位入賞・球技大会優勝を目標に掲げ練成を実施してきました。隊員個々に目標タイムを設定し、部隊の名誉と自身の矜持に掛け、日ごろの練成成果を遺憾なく発揮しました。持続走大会・球技大会とも目標達成することはできませんでしたが、隊員個々の努力が隊の団結力・士気の高揚に大きく助長しました。この悔しさを胸に隊長を核心とし次年度に向け再始動しました。

球技大会

来年も頑張ろう！

第9飛行隊

BT（ブリュネ・タカモリ）24（王城寺・岩手山演習場）

第9飛行隊は、令和6年9月15日（日）から19日（木）までの間、陸自と仏陸軍の相互理解・信頼関係の強化を目的とするBT24に参加しました。

第39普通科連隊及び仏陸軍と共に空中機動作戦を遂行しました。空中機動に当たり、ヘリコプター部隊として、第9飛行隊の他、第6飛行隊、東北方面ヘリコプター隊、第12ヘリコプター隊及び第1輸送ヘリコプター群が参加し、第9飛行隊がその指揮を執りました。

空中機動

認識統一

第307特科直接支援中隊

第307特科直接支援中隊は、令和6年10月21日（月）から25日（金）までの間、六ケ所対空射撃場で行われた12・7㎜重機関銃対空実射訓練に参加しました。

参加者は、基本基礎動作を徹底し積極果敢に各種任務を完遂しました。

機関銃手の高谷3曹は、射撃を命中させた功績により、後方支援隊長　尼子1佐から高級皮手袋を贈呈されました。

12.7㎜重機関銃実射訓練

後方支援隊長よる表彰

第303高射直接支援中隊

第303高射直接支援中隊は、令和6年10月4日（金）（事前走）及び10月10日（木）東北方面後方支援隊（仙台）で実施された持続走競技会に参加しました。

隊員は年度開始以降計画的に様々な厳しい練成メニューをこなし本競技会に臨みました。

結果は、駅伝優勝、個人戦を含む総合優勝の8年連続優勝の成果を収めることができました。

一生懸命走る隊員

8年連続総合優勝達成！

第123地区警務隊八戸派遣隊

第123地区警務隊八戸派遣隊は、令和6年9月21日（土）から30日（月）までの間、全国で実施された「令和6年秋の全国交通安全運動」において、八戸駐屯地の隊員に対し、交通安全指導等を行い、交通ルールの遵守及び交通マナーの実践を習慣付け、隊員の交通安全意識の高揚及び、交通事故等発生の未然防止に寄与しました。

しっかり止まりましょう！

駐屯地パトロール中

第38普通科連隊第3・4中隊

第38普通科連隊第3中隊・4中隊は、即応予備自衛官に対する教育訓練を実施しました。

9月の岩手山演習場において実施した即応予備自衛官招集訓練では、小隊対抗遭遇戦を実施し、小隊長の企図のもとに、火力を発揮して緊要地形の獲得、目標奪取の任務達成を目指し、常備・即自隊員の団結を強化することができました。

四周を警戒し攻撃前進

影から敵を狙う隊員

防衛省 職員 家族 退職後
団体傷害保険
〈団体長期障害所得補償保険〉
〈親介護補償特約〉

防衛省 共済組合 団体取扱
がん保険（アフラック）

防衛省 共済組合 団体取扱
火災保険

【取扱代理店】
弘済企業株式会社
詳しくは、下記の保険常駐員にご相談ください。
八戸駐屯地団体保険室　小田桐、牟田
連絡先　0178-28-3111(内線3365)

これからの暮らしが劇的に変わる。
電力“大”革命
高出力太陽光パネル大容量搭載
長寿命蓄電池ユニット
停電時も家全体に電力の供給が可能
「家⇔車」双方向の給電が可能なV2H搭載
家は、性能。
一条工務店
お問い合せ
株式会社一条工務店
業務推進グループ 担当：二宮
0120-447-812
資料請求

おこめのことならこれからも。
株式会社ライケット
RIKET
本　社 八戸市大字荒町22番地 ☎44-1181
精米工場 八戸市桔梗野工業団地3-7-50 ☎28-2750

各部隊の活動状況

第305基地通信中隊八戸派遣隊

第305基地通信中隊八戸派遣隊は、令和6年9月24日（火）に海上自衛隊八戸航空基地で行われた陸海空合同の基地通信所研修に参加しました。

民間の衛星器材であるスターリンクを活用した通信網の構築要領や基地内の通信維持態勢などについて研修しました。また意見交換会も実施し、共通の問題点などを確認しました。

この研修を通して三八地域の自衛隊の通信を担う部隊として、良好な関係を構築することができました。

通信網の研修

陸海空自衛官で記念撮影

東北方面管制気象隊第1派遣隊

東北方面管制気象隊第1派遣隊は、令和6年10月15日（火）から17日（木）までの間、令和6年度駐屯地気象現地訓練を実施しました。

青森・弘前・秋田の各駐屯地に在籍している気象観測業務要員に気象教育を実施し、観測技術の更なる向上に繋がる教育を実施しました。

引き続き、東北方面管制気象隊第1派遣隊に対するご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

器材の説明・点検

観測要領

自衛隊青森地方協力本部八戸地区合同援護調整所

令和6年11月11日（月）から29日（金）までの間、8業種16企業に陸海空自衛官22名（陸自18名、海自2名、空自2名）によるインターンシップを実施しました。

各企業等における就業体験により、再就職先となり得る職域の拡大及び早期離職防止の一助とするとともに、インターンシップ受入企業に自衛隊員の有効性を周知することができました。

就業体験①

就業体験②

中央輸送隊第2方面分遣隊第2端末地業務班

令和6年10月16日（水）から22日（火）までの間、令和6年度第3回港湾荷役実動訓練を白老港で実施しました。

各分遣隊に所属している自隊荷役要員に対し荷役の練度向上を図るため民間業者からの協力を受け、各種機材の操作練度向上及び船内へのコンテナ積載・卸下要領等、技術向上に繋がる訓練を実施しました。

クレーン操作

船内へコンテナ積載

八戸駐屯地後援会17団体

八戸地区自衛隊協力会
八戸商工会議所
自衛隊・八戸市防災対策検討委員会
青森県隊友会三八地域支部
八戸市自衛隊家族会
青森県銃剣道連盟八戸支部
第５高射特科群後援会
八戸陸上自衛隊協力店会
第４地対艦ミサイル連隊ＯＢ会
第９後方支援連隊ＯＢ会「みちのく会」
第２対戦車ヘリコプター隊ＯＢ会
八戸駐屯地業務隊ＯＢ会
第９施設大隊ＯＢ会「勇施会」
第９飛行隊ＯＢ会
高射ＤＳＯＢ会
第３８普通科連隊八戸地区ＯＢ会
八戸市危機管理部

離任部隊長等紹介

自衛隊青森地方協力本部八戸地区
合同援護調整所長
1等陸尉　石倉　十志彰
（令和６年10月31日付）定年退官

新着任部隊長等紹介

自衛隊青森地方協力本部八戸地区
合同援護調整所長
1等陸尉　田村　慎二
（令和６年11月１日付）
自衛隊青森地方協力本部（八戸）から

陸上自衛隊八戸駐屯地ＳＮＳ各種はこちらから！

駐屯地の活動状況を逐次更新中☆
ぜひチェックしてみてください！

住所　青森県八戸市市川町桔梗野官地
☎　０１７８（２８）３１１１

八戸駐屯地HP・フェイスブック・X
・インスタグラムをまとめたQRコードです！
八戸駐屯地　で検索！

八戸駐屯地公式キャラクター
市川　ききょう士長です！
ＳＮＳ各種のフォロー
お願いします！

協賛募集

八戸駐屯地広報紙「八戸」へ
御協賛いただける
企業様を募集しております！

◎協賛金額

一口　￥１０，０００（7cm×7cm）

◎連絡先
八戸駐屯地司令業務室　広報班
０１７８（２８）３１１１（内線　２０６８）
pr-4ssmr-nea@inet.gsdf.mod.go.jp

皆様からの御協賛お待ちしております！

■ボッシュテスター導入
… 各国産・各輸入車診断
■ボルボ専用テスター
…ボルボ専用診断

国産軽自動車から、
VOLVO.JAGUAR.LAND ROVER他
新車・中古車販売　修理

㈲マルコウ吉田自動車工業
〒031-0072　八戸市城下3丁目2-28
☎0178(43)7530
FAX0178(43)7583
http://www.marukoh-yoshida.com/

電話１本で迅速配車のお迎え
ポストタクシー
本社／八戸市城下一丁目28-1　https://posttaxi.co.jp　ポストタクシー　検索

配車センター　22-4156（フヨイコロ）
1953年駐留米軍基地現陸上自衛隊八戸駐屯地内で創業
・乗務員募集中
※二種免許費用は全額会社負担
※支度金あり、入社６ヶ月間固定給支給
※大型二種免許ある方、歓迎
ケア サービス事業部
（介護タクシー）
41-1230（ヨイ　イチニサンポ）
広告